

効率よくモノをつくるための手法を演習で学ぶ リーダー・新任管理者のための 「現場改善手法」習得セミナー

開催日時 **2023年 8月24日(木)～25日(金)** 大阪会場 2日間とも 10:00～17:00

対 象

- ・現場リーダー、新任管理者
- ・QCリーダー、現場改善担当者
- ・モノづくり現場の基礎を学びたい方

講 師 **西村 仁 氏**

ジン・コンサルティング代表
生産技術コンサルタント

参加料(税込)

法人会員：88,000円/1名

会 員 外：99,000円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。

※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)

※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>

※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ね ら い

IEすなわちインダストリアル・エンジニアリングには2つの見方があります。

広義のIEは効率よくモノをつくるための生産プロセス全体を、**狭義のIE**は作業分析をあらわします。**本セミナーではIEの最終目的である「ムダを無くして意味のある作業に特化する」ことを狙って、前者の広義なIEの視点で解説をおこないます。**

QCDそれぞれについて**製造品質・製造原価・生産期間**と捉える意味を理解してから、演習を通じて実践で活かせる手法を体得していただく2日間です。

事前の知識は必要ありません。2日間で現場改善ができるようになります。

演習で体得

改善手法の習得は
「対面」が
おすすめです。

■ プログラム

2日間 10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

1日目

1 モノづくり企業に必要な強み

- ・買ってもらうための「4P」
- ・利益をうみだすための「QCD」

2 ムダを見つける視点

- ・定石の7つのムダ
- ・段取り改善は改善の方向
- ・5Sのポイントは「整理」

3 動作のムダを省く

動作分析

- ・動作のムダの見つけ方
- ・作業改善を体感する
- ・個別原価を試算する
- ・標準化の意味

グループ演習

個人演習

グループ演習

4 理想の生産ラインを考える

工程分析

- ・生産プロセスを分析する
- ・ボトルネックとは
- ・4つの自動化レベル

個人演習

2日目

5 モノの流し方を考える

工程分析

- ・ロット生産・1個生産・一人生産
- グループ演習
- ・モノと情報をサラサラ流す

6 設備の稼働率を向上させる

稼働分析

- ・稼働率と可動率の違い
- ・非稼働要因を分析する
- ・設備の実力を数値化する

7 問題解決のポイント

- ・原因を分析する視点
- ・パレート図で取り組み優先度を決める
- 個人演習
- ・統計は平均値と標準偏差を活用する

8 改善実施のコツ

9 質疑応答・まとめ

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

